

### 利活用プログラムについて

#### 第一次大極殿院地区の復原建造物、空間自体の展示に係る既存計画

平成20年「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想推進計画」文化庁

#### 3-3-2 活用拠点と動線

##### (2) 活用拠点

第一次大極殿院：奈良時代前半の平城宮の中心施設。(中略)奈良時代の宮殿の在り方やそこにおける儀式あるいは建築技術などを体験的に理解する活用拠点

#### 3-3-4 建物復原に関する方針

##### (4) 第一次大極殿院地区における復原建物の機能

第一次大極殿院地区の復原建物は、内部も含めてすべて公開されることとなる

平成20年「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域 基本計画」国交省

#### 5. 空間配置計画 (1)ゾーニング 1 シンボルゾーン

(前略)復原された建物等を中心とする歴史資産を最大限に活用した空間づくりを行い、往時の平城宮の様子が感じられるゾーン(後略)

##### (2)各エリアにおける利用・整備方針と主要施設

###### 1)シンボルゾーン1 建物等復原エリア

主要な遺構について、原位置での実物大の建物等を復原し、併せて復元物を活用した取組を行うこと等を通じ、往時の平城宮の有り様を視覚的に体感する

#### 7. 管理・運営方針(2)運営の方針

##### ④高齢者や障害者等のサポート

施設整備のバリアフリー化などに加え(中略)人的サポートなどを行う。

#### 第一次大極殿院地区の復原建造物、空間自体の展示に係る基本的考え方(動線等)

##### 1. 基本的に自由な散策を可能とする。

○公開時には、南門をはじめ脇門、穴門を全て開放し、見学者が自由に出入りし、散策できるようにする。

##### 2. 全ての復原建造物の内外が見学できるようにする。

○全ての復原建造物について、その内外が見学できるようにする。

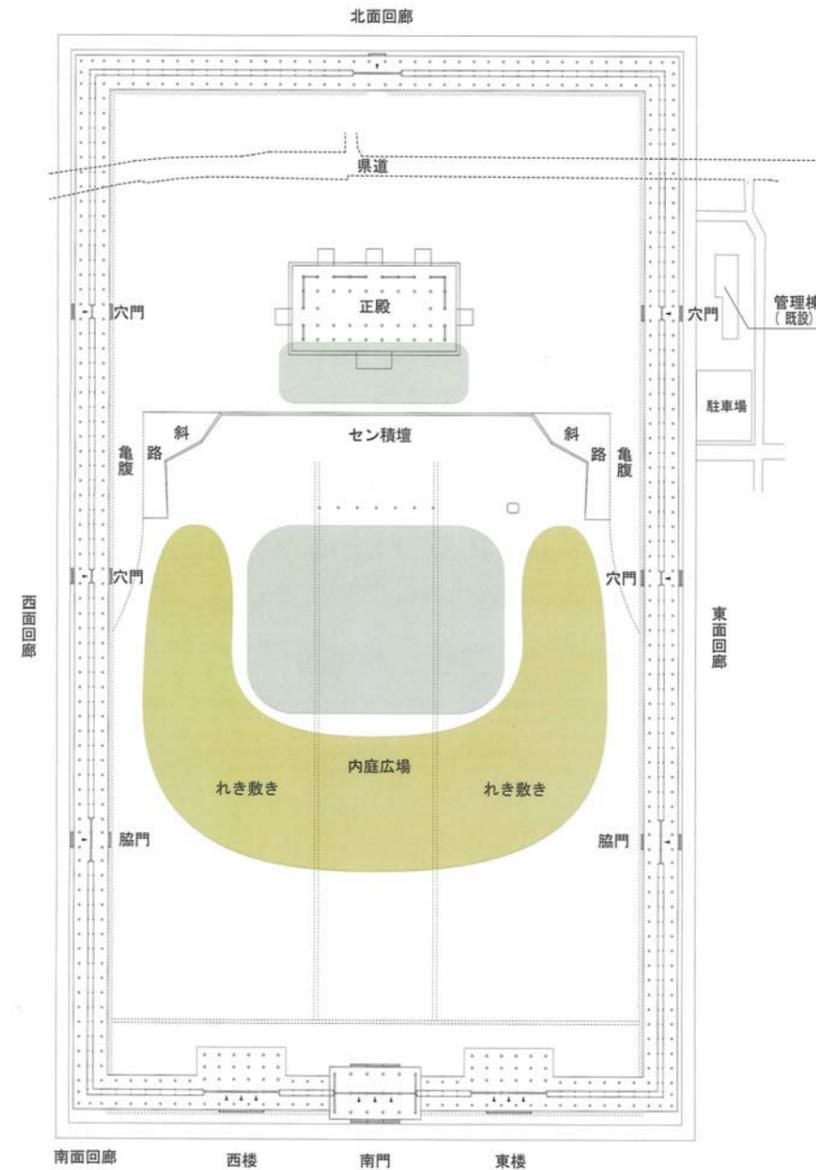
##### 3. 院地区の空間特性の理解・体感上、効果的な視点を生かした見学とする。

○院地区が持つ以下の空間特性を体感できる視点場の存在を知らせ、見学者になるべくそこを訪れてもらうようにする。  
・朱雀大路から正殿に続く軸線、軸線を受け止める正殿の正面性・象徴性  
・広大な規模を持つ院庭の囲繞性・領域性

##### 4. 要支援者のためのバリアフリー動線を確保する。

○スロープ等の設置によりバリアフリー動線を確保する。要支援者に対するサポートを提供する。

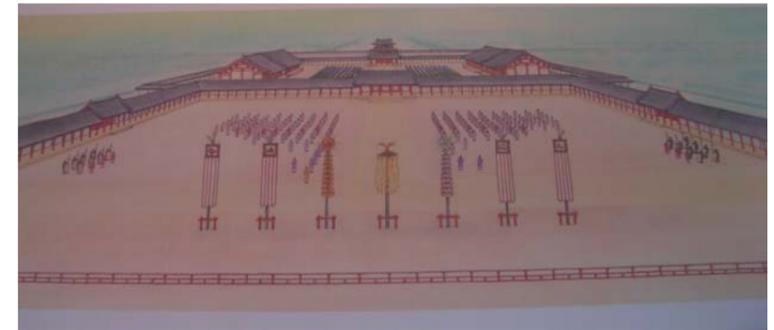
#### イベントの実施(古代演示)



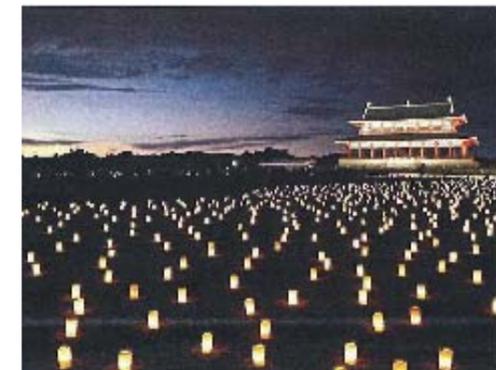
※演示内容によって、演示・見学スペースの形態や規模は適宜対応する。



定期的実施する小演示(衛士隊の再現)



イベント的に実施する演示(百官)



代替手法で実施する演示(光による演出)

演示イメージ図

#### 第一次大極殿院地区で行う古代演示の形態 ※実現に当たって古代演示の復原研究の実施や再現方法の検討を進めていく

##### 1. 定期的実施する小演示

○古代宮城空間であったことを示すため、定期的に演示を示す演示があることが望ましい。(公開中は、定時に毎日実施するなど)  
○定期的に演示を行う場合は、多人数によるものは困難であり、少人数による簡素なものが望ましい。  
例：天皇役、官吏役(文武官、使節等)が対面し、勅を受ける場面を簡素化して実施する、など。

##### 2. イベント的に実施する演示(百官)

(1) 役者が百官を演じて見学してもらう(見学)  
(2) 見学者に百官を演じてもらう(参加)  
○百官役の役者が基壇下に整列し、天皇役の役者が正殿に現れ、儀式を執り行う。  
○セン積み壇下の一定の演示スペースが必要となる。  
○見学者は院地区を見学しながら演示を見学できる。(イベント時の正殿は非公開とする)  
○院地区における本来の行事の有様や、院庭の広さや正殿の権威を体感してもらうため、多人数による往事の形に近い演示の再現を実施することが望ましい。  
○上記の二種類の実施方法が考えられる。  
役者が演じる場合、朝賀、新羅・渤海使節謁見、即位、大嘗会、視告朔、御齋会などをアレンジして実施する。

##### 3. 代替手法で実施する演示

(1) 光による演出(夜間)  
○夜間公開し百官に見立てたろうそく等の光源を並べる。  
(2) 音による演出  
○催事の際に演奏されたであろう、雅楽、太鼓などを効果音として流す(常時でも可能)。

##### ■演示に必要な整備、設備など

○幟幡など  
※演示に必要な最小限の設備を検討する。(電気、放送設備など)  
※演示以外の持ち込みイベントの実施は禁止しないが、あらかじめそのための大がかりな整備を行うことはしない。(配線等を収納できる配管の設置は検討する。)